

子ども・子育て新システム検討会議作業グループ 基本制度ワーキングチーム(第20回)	資料4
平成24年1月31日	

# 市町村における先駆的な取組事例について

平成24年1月31日

第20回 基本制度ワーキングチーム資料

# 市町村における先駆的な取組事例について

前回の基本制度WT(1月20日)に引き続き、子ども・子育て新システムの実施を見据えて、幼保一体化や地域における子育て支援の充実などについて、以下の市町村における先駆的な取組や特色のある取組を紹介します。

美	郷	町	(秋田県)
東	根	市	(山形県)
三	鷹	市	(東京都)
長	岡	市	(新潟県)
湖	南	市	(滋賀県)
大	阪	市	(大阪府)
丹	狭	市	(兵庫県)
尾	波	市	(広島県)
	道		

都道府県コード順

# 秋田県 美郷町

# 秋田県 美郷町

## 1. 町の概況

- (1) 秋田県美郷町は平成16年11月、千畑町・六郷町・仙南村の二町一村の合併により誕生した。  
秋田県南部、穀倉地帯として知られる仙北平野の南東部に位置している。  
東は奥羽山脈を境に岩手県に、南は横手市、北・西は大仙市にそれぞれ接している。  
季候は比較的温暖で、夏は高温多湿、冬は降雪が続く寒暖の差が大きいという特長を持っている。  
冬期間の積雪は平均で平野部が150cm前後、山間部で200cm前後に達する。
- (2) 人口：21,674人（平成22年10月1日国勢調査）
- (3) 面積：168.36km<sup>2</sup>（平成22年10月1日国勢調査）
- (4) 就学前児童数：819人（平成23年4月1日現在）
- (5) 幼稚園、保育所数
  - 町立認定こども園 3か所（幼保連携型）
  - 認定こども園 千畑なかよし園
  - 認定こども園 六郷わくわく園
  - 認定こども園 仙南すこやか園



＜認定こども園 千畑なかよし園＞

## 2. 認定こども園設立の経緯と概況

美郷町の認定こども園3園は、平成18年11月に、認定こども園制度の開始とともに、全国に先駆けて認定を受けた。これは、構造改革特区の認定を受け、3歳以上児の幼稚園児と保育園児が混合の学級編制となっていたことや、幼稚園・保育園が町の教育委員会に所属し、事務を教育委員会が担当していたこと、幼稚園舎や保育園舎、子育て支援センターが連結していたことなどの諸条件が整っていたことによる。

現在、3園にはそれぞれ約200名ほどの園児が在籍し、一体的に運営される園で伸び伸びと生活している。旧町村地区に1カ所の幼保一体化施設ということもあり、どの地区においても3歳以上児のほとんどが入園している。

町としても地域の子育て支援機能を担う3園が、質の高い教育・保育を一体的に提供できるよう、その環境づくりに可能な限りの支援を行っている。

### 3. 町の幼児教育の施策

#### (1) 幼稚園・保育園児の年齢に応じた合同保育の実施

#### (2) 幼稚園・保育園・子育て支援センターの一体的活動の実践

3園においては、0歳児から5歳児までの一貫した教育・保育ができるように年齢や発達段階に応じたねらいを明確にした指導計画を作成している。この計画により、幼児の生活の連続性や発達や学びの連続性を踏まえた体系的な保育が可能になっている。また、家庭環境や保護者の勤労にかかわらず、等しい幼児教育が受けられる利点がある。

#### (3) 豊かな地域環境を生かした創意ある体験活動の推進

3園においては、地域の施設を活用したり、地域行事に積極的に参加したりすることで園の立地条件を生かしながら地域に根ざした保育活動を展開している。また、どの園も直接的で具体的な体験を充実させていることから、今後も小さいときから感動体験を多く味あわせ、豊かな感性を育てていく。

#### (4) 幼児一人一人の発達を支援する緻密な個別指導の実施

一人一人の発達の課題や特性を理解し、その良さを認めながらきめ細やかなかわりができるような指導計画を作成している。今後も、一人一人の内面に寄り添う教育・保育を充実させていく。

#### (5) 専門職としての資質・人間性を高める研修の実施

教育・保育に情熱を傾け、自己研鑽を惜しまない保育者を育てるとともに、園の実態に応じた研究主題を設定し実践研究に努めていく。

#### (6) 教育目標を達成させるための施設整備と環境づくりの推進

#### (7) 看護師の配置による施設の衛生管理と園児の健康管理の強化

それぞれの園において安心して保育や教育ができるように町は施設を整備し、職員が働きやすい環境を作っていく。また、平成21年度からすべての園に看護師を配置している。今後も、命を預かる施設であることを絶えず自覚し、設備の点検を日常的に行うとともに、安全教育指導計画や避難計画を整備し、危機管理を徹底する。

(8) 3園間の園児交流の実施

面識のない友だちと遊びながらルールを決めたり、相手の気持ちを汲みながら役割を分担したりする活動を通して、コミュニケーション能力を高めるとともに、友だちの輪を広げる。

(9) 小学校との交流・連携の充実

発達や学びの連続性を踏まえた幼保・小の滑らかな接続と段差の解消を目指し、教職員の交流研修（保育者と小学校教諭による共同授業や共同保育）を実施している。また、行事の出席交流のほかに指導主事訪問時の園と小学校の保育参観（授業参観）の推進に努めている。従来から実施している入学前と入学後の園児、児童の情報交換については、意見交換等により問題点を分析し、具体策を検討している。

(10) 障がい児を受け入れた乳幼児教育の推進

保護者や関係機関との連携を図りながら、個別の指導計画を作成し、園児の実態に応じた保育に努めている。

(11) 食生活・食習慣の基礎を培う乳幼児の食育の推進

町に栄養士を配置し、献立の管理のほかに乳幼児の段階からの食育推進に努めている。保護者の勤務の多様化に伴い、朝食をとらない保護者もあり、園に通う子どものなかには、朝食をとらずに登園する園児もいる。園では、保護者会の際に、朝食の大切さを教えたり、食を通しての家族の団らんやしつけの大切さについて情報提供したりしている。また、月1回「みさとっこランチ」として、地場産物の活用も図っている。



< 3園間の園児交流の様子 >



< 保育者と小学校教諭による共同保育の様子 >

# 山形県 東根市

## 1. 市の概況

- (1) 人口：46,414人（平成22年10月1日国勢調査）  
前回の国勢調査と比較し、県内で唯一人口が増加したまち。（+580人）  
なお、昭和52年以降、毎年人口が増加している。
- (2) 面積：207.17㎡（平成22年10月1日国勢調査）
- (3) 就学前児童数：2,736人（平成23年3月31日現在）
- (4) 保育所、児童館等、幼稚園数
- 1) 保育所：公立5施設（うち2保育所が民営化）、民立4施設
  - 2) 児童館・児童センター：児童館1施設（障害児通所施設）、児童センター5施設（3歳以上児の集団保育）
  - 3) 幼稚園：2施設（民立）
  - 4) 認可外保育施設：11施設（うち3施設事業所内託児所）

生産量日本一を誇るさくらんぼ



## 2. 本市独自の子育て支援事業の概況 ～ 子育てするなら東根市 ～

- (1) 子育て支援のシンボリック施設「さくらんぼタントクルセンター」
- 1) 施設の概要
- 保健医療及び子育て支援の複合施設「さくらんぼタントクルセンター」の創設（平成17年4月1日オープン）
- ◆子育て支援エリア 東北最大級の屋内大型遊戯場「けやきホール」、小児用遊戯室、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、ひがしね保育所
  - ◆保健エリア 総合健診室、調理実習室、栄養指導室
  - ◆福祉エリア 教養娯楽室・会議室等貸館による福祉活動支援
  - ◆医療エリア 休日診療所
  - ◆共用エリア 502名収容の大ホール
  - ◆事務エリア 健康福祉部子育て健康課・相談室・NPO法人事務室

### ？タントクルの名前の由来って？

たくさんの人に来てほしいという願いを込め、「タント(たくさん)クル(来る)センター」と命名。  
平成22年度末までに来館者数は200万人を超え、そのうち、けやきホールの利用児童数は90万人を超えています。





## 2) けやきホールの特徴

市内にある国特別天然記念物大ケヤキをモチーフとした大型遊具など、子どもの冒険心や探究心をくすぐるしかけを数多く施した、本市の子育て支援のシンボルとなる施設。市内外を問わず、自由にのびのびと遊ぶことができるとして、リピーターが多いことも特徴

## 3) NPO法人との協働運営

子育て支援エリア(保育所を除く)、福祉エリア、共用エリアの管理運営をNPO法人に委託

NPO法人による多彩な子育て支援プログラムの実施

- ◆子育て支援センター 赤ちゃんサロン(0ヶ月～6ヶ月)、たっちサロン(7ヶ月～12ヶ月)、  
よちよちサロン(1～2歳未満)、移動サロン(地域に出向き、子育てサークルの支援)
- ◆けやきホール 自由来館によるのびのびとした遊びに加え、2～4歳児の親子、祖父母等を対象としたプログラムを開催。季節感を大切にした手遊び、体操、読み聞かせ、宝探しゲームなど
- ◆ファミリーサポートセンター 会員相互間の子どもの一時的預かりや保育施設までの送迎など
- ◆幼児共育推進事業 親と子が自然の中で、体験・発見・感動のできる「遊びの学校」を実践

⇒ これらの子育て支援事業を、同一NPO法人が有機的に組み合わせ、魅力ある事業を柔軟に展開



大ケヤキをモチーフにしたけやきホール（左）とボールプールで遊ぶ子ども達（右）

## (2) 遊びから学ぶ「屋外版子どもの遊び場」(平成25年度オープン予定)

タントクルセンターでの取り組みをさらに屋外へと広げ、自分の責任で自由に遊び、遊びから学ぶという“プレイパーク”の理念に基づいた遊び場を整備。自然とのふれあいや様々な人たちの関わりにより、自主性、創造性、社会性を育むという、本市独自の新しい子育て支援

### ◆整備概要

面積 : 約3ha

総事業費 : 約500百万円

冒険広場、農業体験など様々なテーマに沿ったゾーンを整備するほか、各種遊具も整備



自然の中でのびのびと遊べる 「屋外版子どもの遊び場」

## (3) きめの細かい子育て支援体制

### 1) 子育て相談「ママっとメール(mam@メール)」

身近に子育てに関する相談者がいない方なども気軽に相談できるよう、携帯電話のメールによる相談を受け付ける専門のサイトを開設。保健師、栄養士等が適切な助言を提供

### 2) 休日保育の実施

月曜日～土曜日までの一時保育に加え、日曜日・祝日・年末年始についても、市内の全児童を対象に、休日保育を実施。保護者が仕事等で保育できない場合にも対応できる環境を365日体制で整備

### 3) すこやか初孫学級・すくすく育児相談

初めて祖父母になる方への教室や、子育てについて相談したい方の個々に適応した育児相談を実施

### 4) 育児相談充実事業

従来の相談事業に加え、保育施設に臨床心理士を派遣し、発育遅滞等に関する専門的な見地からの巡回相談を実施。特別な支援が必要な子どもへのフォローアップを内容とする教室の実施



東京都 三鷹市



第20回 子ども子育て新システム  
基本制度ワーキングチーム資料

# 子ども本位の 子ども子育て支援を目指して

東京都三鷹市

2012.1.31



# 三鷹市の位置と概況

- ・面積：16.5 km<sup>2</sup>      ・人口：約18万人      ・世帯：約8万7千世帯
- ・新宿から約15km      ・JR中央線で新宿から15分
- ・東京23区に隣接する高環境・高福祉を目指す緑と水の公園都市、住宅都市
- ・一般会計予算：649億8千万円（2011年度当初）地方交付税の不交付団体
- ・就学前児童数8,715人（外国人登録含む）  
    保育所2,517人      幼稚園2,725人      在宅3,473人  
        28.9%                  31.3%                  39.9%



2/16



# 三鷹市の子育て支援施策の推移

## 施設保育

全国初の公立保育所での0歳児保育開始

昭和31年

昭和63年

市立保育所による「地域開放事業」開始

平成6年

子ども家庭支援センター「すくすくひろば」開設

相談事業、緊急一時保育事業、子どもショートステイ事業

平成12年

インターネット子育て相談開始

株式会社への公立保育園運営委託

平成13年

みたかファミリー・サポート・センター開設

東台保育園

みたか子育てネット開始

幼稚園跡地活用検討チーム

駅前保育園

平成14年

子ども家庭支援センター「のびのびひろば」開設

三鷹市公設民営保育園運営評価委員会

一時保育事業、トワイライトステイ事業、病児保育、育児支援ヘルパー事業

法人への運営委託による公設民営化方針

牟礼保育園

三鷹市子ども家庭支援ネットワークの整備

幼保小連携モデル事業（高山小）

大沢台保育園

コミュニティ・センターでの「出前型親子ひろば：あそびとおしゃべりの会」開始

市立保育園の公設民営化

平成19年

平成20年

三鷹市子育て支援ビジョン策定

ちどり子ども園

西野保育園

平成21年

三鷹市次世代育成支援行動(後期)計画策定

こじか保育園

平成22年

子ども政策部の創設



# 「三鷹市子育て支援ビジョン」の策定

三鷹市自治基本条例 (H17.9)

三鷹市子ども憲章 (H20.6)

三鷹市基本構想 (H13.9)

第3次三鷹市基本計画 (H20.3改定)

「三鷹市子育て支援ビジョン」(H21.3)

三鷹市教育ビジョン(H18.12)

- ～ 三鷹市が目指すべき「次世代育成の環境整備」に向けた子育て支援政策の基本的かつ総合的指針～
- ・ 多様な主体の参画と協働による子育て支援体制の整備
  - ・ 子育て生活を応援する在宅子育て支援
  - ・ 子どもの育ちを伸ばす施設保育支援
  - ・ 学童保育所を中心とした子育て支援環境の充実
  - ・ 子育て支援施策の質の向上を目指した検証・研究・研修の拡充

「三鷹市次世代育成支援行動計画(後期計画)」の策定 (H22.3)

子ども政策部の創設 (H22.4) 総合的な子育て支援施策の展開



## < 施設保育支援～公設民営化の取り組み >

名称	開設時期	委託事業者	定員	付加機能
市立東台保育園	H13.4	(株)ベネッセスタイルケア	69	延長保育、地域開放
市立三鷹駅前保育園	H14.4	(社福)三鷹市社会福祉事業団	30	延長保育、親子ひろば、一時保育、トワイライトステイ、地域開放
市立牟礼保育園	H16.4	(株)こどもの森	92	延長保育、一時保育、地域開放
市立大沢台保育園	H18.4	(株)ベネッセスタイルケア	62	延長保育、親子ひろば、地域開放
市立西野保育園	H19.4	(社福)三鷹市社会福祉事業団	101	定員増、延長保育、一時保育、地域開放
市立ちどりこども園	H19.4	(社福)三鷹市社会福祉事業団	83	延長保育、幼稚園タイプ受入れ、地域開放
市立こじか保育園	H20.4	(株)こどもの森	58	延長保育、親子ひろば、地域開放

公設民営化の検証サイクル

<4月>

<10月>

<3月>

三鷹市立保育園保育のガイドラインの遵守

毎月の運営報告と公立保育園長連絡会での情報共有

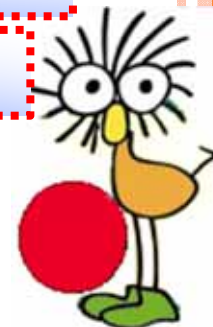
子ども育成課による実地調査の実施

保護者/職員満足度調査の実施

第三者評価の実施

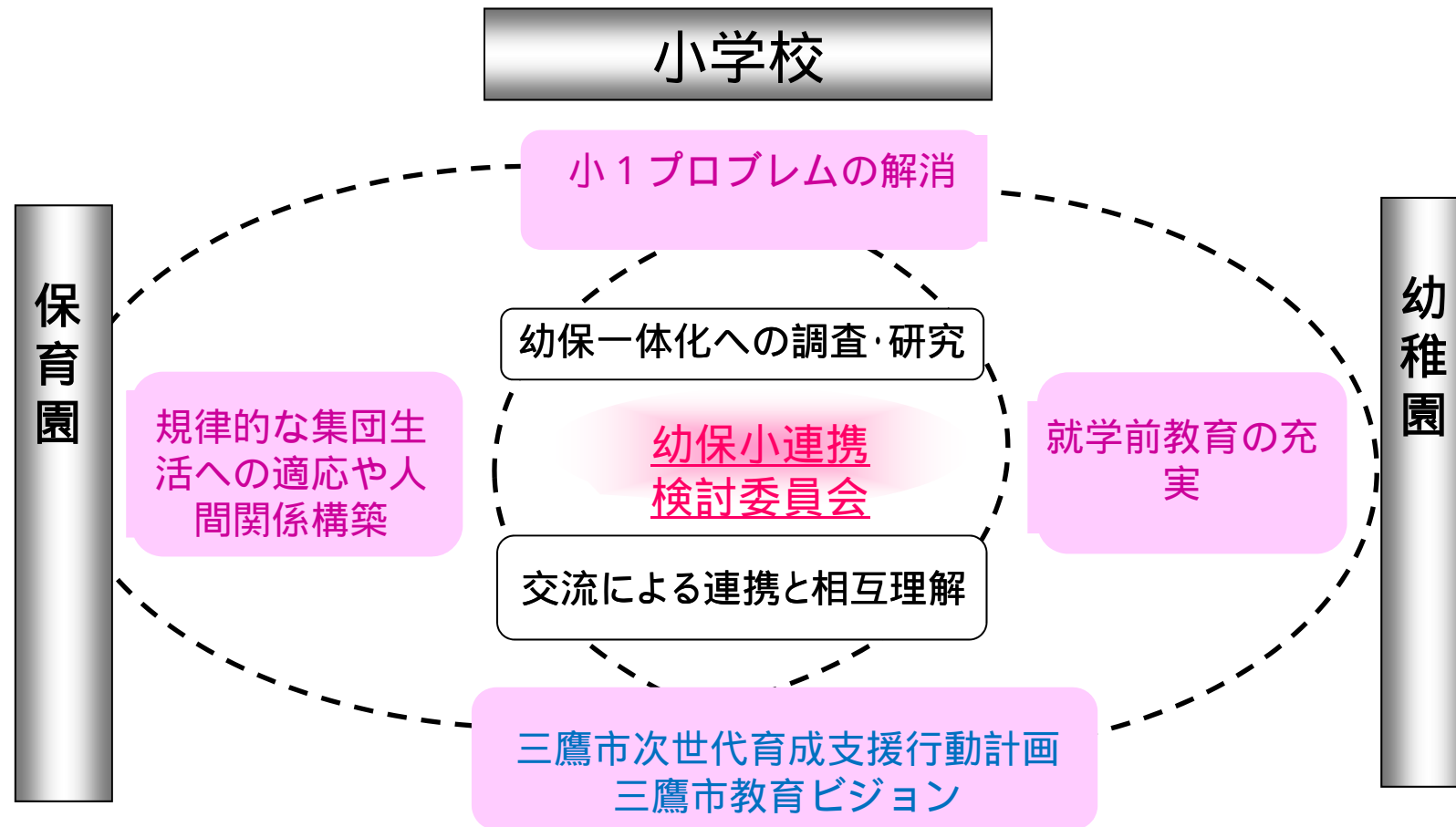
運営委員会による計画の検証

運営委員会による実績の検証





## <施設保育支援～幼保一体化の取り組み>



三鷹市

三鷹市教育委員会



## < 施設保育支援～三鷹型子ども園の取り組み >

### 三鷹市立ちどり子ども園

#### 概要

- ・平成19年4月開園
- ・保育園児53人、幼稚園タイプ園児30人
- ・(社福)三鷹市社会福祉事業団への運営委託

#### 特徴

- ・旧市立幼稚園の跡地を活用（小学校に隣接）
- ・市の保育士及び幼稚園教諭等を派遣し、事業団プロパーと協働して運営にあたっている。
- ・幼児教育と保育の柔軟な融合によるカリキュラム実施（開設1年前より幼保職員中心のプロジェクト始動）

#### 小学校(教育委員会)との関係

- ・小学校教育とのリンケージ（こども園運営委員会による連携方策の検討）
- ・子どもたちの日常的な交流
- ・セキュリティ環境の整備

#### 保護者との関係

- ・公立施設での幼稚園教育への期待
- ・地域要望による幼稚園タイプ機能の付加



## 三鷹市立ちどりこども園

市立幼稚園のノウハウを継承し、幼・保・小連携の取組に資する施設として開設。

保育所保育指針、幼稚園教育要領に基づいた1～5歳児までの一貫した保育と小学校教育を視野に入れた遊びを通した幼児の教育活動、異年齢保育による世代間交流、小学校隣接のメリットを活かした小学校への円滑な移行、保育相談、近隣幼児の園行事への招待、園庭開放、図書の貸し出し等の在宅子育て支援、預かり保育を実施。

